

○事業概要 (地域の現状・課題、地域活性化に向けた考え方)

近年インバウンド需要が急激に増加している中で、3泊や4泊するお客様が増加している。彼らの予約内容は基本的に素泊まりや、朝食のみの予約が多く、宿で夕食を食べるお客様が減少傾向にある。その為稼働率は上がっているものの、総売上げとしては伸び悩んでいる。また、現在殆どの宿が単体で仕入れをしているので、仕入れ価格の高騰による利益率の悪化が起きている。現状の課題である、泊食分離による売上減少の回復と共同購入による利益率の向上を目的としている。さらに食事の利便性を図ることによって、インバウンド需要のさらなる増加と地域活性化を図りたいと考えている。

・ 取組内容

①泊食分離の実施

- ・ 宿泊施設同士の連携。(他の宿で夕朝食の相互利用)
- ・ 宿泊施設の飲食部門の一般開放。(夕朝食の一般開放)

②共同購買の実施

- ・ 食料品、消耗品及びアメニティの共同購買
- ・ 地産地消に繋がる地域食材の共同購買

・ 実施スケジュール

6月ないし7月頃から月一回程度の会議を行う。当地域は冬のシーズンにインバウンド需要が増加するので、12月ないし1月頃を完了予定とする。

連携内容

・ 参加施設 まるか旅館、清風荘、旅館はくら、和風の宿ますや、あぶらや燈千  
現状では5軒だが、今後増やす予定。

・ 具体的な参加施設の活用方法 ①泊食分離の実施 ②共同購買の実施

・ 利用者数などの数値目標など

- ①1年目・・・冬季期間(12月～3月)の各施設総売上高前年比101%
- 2年目・・・冬季期間(12月～3月)の各施設総売上高前年比102%
- ②1年目・・・冬季期間(12月～3月)の各施設食材原価前年比99%
- 2年目・・・冬季期間(12月～3月)の各施設食材原価前年比99%

・ 新たな旅行需要及び宿泊需要の開拓に繋がる工夫

新たな需要の開拓としてとして、このエリアは「スノーモンキー」というインバウンドに人気の観光スポットがあり、今後も益々需要の増加が期待されます。その中で飲食店や宿泊施設などで夕朝食が取れる選択肢があることによって、滞在がしやすくなり、連泊需要の増加を見込めると思います。その結果ここを起点に長野県の観光もちろん他県の観光にも日帰りで行けるような、エリアになっていければと考えています。



実施体制スキーム

- ・ 湯田中温泉観光協会
- ・ 湯田中温泉観光協会登録旅館
- ・ 関連業者

